

NEC PC98用MS-DOS版RsKey

概要

NEC PC98用RsKeyは、RS232cから取り込んだデータをキーボードエミュレートするMS-DOS上のTSR型プログラムです。

受信 --- RS232cに接続された機器を、PC上の業務プログラムはキーボードと同等な入力装置として利用できます。

送信 --- PC上のファイルデータをMS-DOSコマンドで外部機器に送信できます。RsKeyは常駐すると"RSKY"名でMS-DOSデバイスを登録します。

RsKeyは単なるキーボードエミュレータではなく、外部機器とPC上のデータとの透過的接続を可能にし、従来プログラムが必要だったデータの取り込み、送信をプログラムレスで行える環境を提供します。

特徴：

- ー ハードウェアキーボードエミュレータと同様に、外部機器からRS232c機器からのデータを直接アプリケーションプログラムに渡すことができます。
- ー 外部機器データの取り込みだけのみならず、送信もMS-DOSコマンドレベルで簡単に行えます。
- ー ハードウェアキーボードエミュレータでは絶対に不可能な、全角文字（漢字）の送受信が可能です。外部機器からシフトJISコードを送れば、PC上プログラムに全角文字を直接入力できます。
- ー RsKeyがPC上の状態を監視できるため、前面アプリケーションとのデータのやり取りに支障をきたさないような状態を作り出したり、待ったりすることができます。例えば、外部機器からの半角文字が日本語FEPによって全角に変換されないように日本語FEPの制御（FEPがONならばOFFにする）を行えます。

<備考>

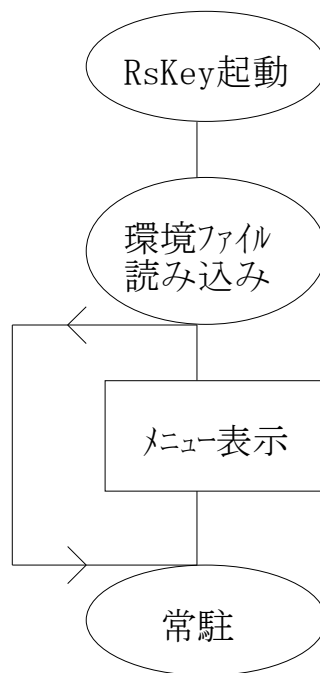
— DOS/V、J3100、AX用RsKeyに備わっている前処理機能は実装していません。

— PC98用MS-DOS版RsKeyの仕様では使用要求を満たすことができないければカスタマイズ可。

仕様：

ボーレート	： 300, 600, 1200, 2400, 4800 9600, 19200, 38400	データビット	： 7, 8
ストップビット	： 1, 2	パリティビット	： 無し, 偶数, 奇数
ハントシェーク	： RTS	DTR	： 有効, 無効
バッファサイズ	： 受信バッファ=512バイト(可変), 行バッファ=256バイト(可変)		
常駐サイズ	： 標準バージョン 約17kb プロテクトされていないバージョンは10kb弱 (常駐サイズはバッファサイズの調整により変化する)		
その他機能	： 日本語FEP制御(ON/OFF) 文字間デレイ(0 - 999) バッファードモード、行単位ハントシェーク フレイムブル、ホストアンブル付加		
メニュー	： すべてのオプションは、カーソルキー、リターンキー、ESCキーで選択できるメニューで設定できます。また、コマンドラインで指定することもできます。		

起動：



起動後、環境設定ファイルを読み込み、最新の設定値で各オプションを初期化します。もし、メニュー表示オプションが有効になっていたら設定メニューを表示。そして常駐します。もし、すでに常駐している時に起動すると、オプション設定をリセットします。